

1 議題 「3の1オリンピックを開こう」 活動内容(1)

2 議題決定までの背景と経過

本学級の児童は、明るく素直であり、何でも思ったことをのびのびと話することができる。大変仲がよく、休み時間には、男女分け隔てなくまとまって外遊びをする姿がみられる。5月に行った「みんなで楽しもう」でのキックベースにおいては、「女子がホームインしたら2点」というルールを児童が考え、実践場面でも、上手な男子が女子にアドバイスをしたり、サポートをしたりしながらゲームを進める姿がみられた。

運動会終了後、議題ポストに「運動会をがんばったおいおいをしたい。」「3年生でも運動会をしてみたい。」という意見が入れられた。朝の会で話し合ったところ、「自分たちで考えた種目を競う、学級オリンピックをしたい。」という意見がまとまり、本議題が決定した。

<実態調査> (平成23年9月1日 第3学年1組 調査人数 27人)

1	議題を自分で見つけて、提案したことがありますか。	はい 5人	いいえ 22人
2	自分の考えをもって、学級会に参加していますか。	はい 20人	いいえ 7人
3	よく考えて発言していますか。	はい 10人	いいえ 17人
4	友だちの意見を大切にしていますか。	はい 13人	いいえ 14人
5	話し合いで決まったことに関して、それを大切にしていますか。	はい 23人	いいえ 4人
6	自分がクラスにとって役に立っていると思いますか。	はい 7人	いいえ 20人

初めの頃は、計画委員の活動や話し合いの進め方に慣れず、戸惑いがちだった児童達も、活動を重ねる毎に話し合いの進め方が身に付いてきた。話し合い活動においては、自分の意見に理由をつけて発言することのできる児童が多く、発表の仕方も徐々に身に付いてきている。一方で、少数ではあるが積極的に話し合いに参加できない児童もみられる。また、『自分がクラスにとって役に立っている』と考えている児童はほとんどいないという実態も明らかになった。

そこで、本議題「3の1オリンピックを開こう」の話し合いでは、全員が活躍できる可能性のある種目を考えることにより、自他の意見を比較しながらクラス全体にとってよりよいものをつくっていきこうということになった。本議題を通して、自分も友達も活躍できる種目を考え、みんなでその楽しさを体験し、集団への所属感を高め、一人一人がクラスの一員として自信をもって学校生活を送っていきけるようにしていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
話し合いに進んで参加し、楽しい集 会にしようとしている。	お楽しみ会の内容を考え、友だち の意見をよく聞き、自分の考えを進 んで発表し、必要な係を決めて実践 している。	学級の仲間意識・友だち意識を高 めるためのお楽しみ会の意義が分 かる。

4 活動計画

	日 程	活動の内容	活動の主体	指導上の留意点
事 前	9月26日 (業 間)	・ポストを開け、問題を整理 する。	計画委員会	・他の議題案の処理についても助言する。
	9月27日 (朝の会)	・議題を選定し決定する。	計画委員会	・話し合う議題の報告、掲示によって学 級全体に意欲をもたせる。
	9月28日 (昼休み)	・話し合いのめあてと柱 を決める。	計画委員会	・話し合いの内容が多くならないように 助言する。
	9月29日 (朝の会)	・係の打ち合わせをする。 ・学級会ノートを作成する。	計画委員会 学級全体	・自分の考えを「学活ノート」に書かせてお く。

5 本時の指導

(1) ねらい みんなが活動できそうな3の1オリンピックの種目の内容を決めることができる。

(2) 活動計画

第7回 3年1組 ぴかぴか会ぎの計画

9月30日(金)

ぎ 題	3の1オリンピックを開こう			
ていあん理由	みんなで活やくできるため			
計画委員	司会		司会	
役わり分たん	黒板 記録		ノート 記録	
決まっていること じょうけん	○日時 10月6日(木) ○細かいルールはたん当の係が決める。 ○みんなが活やくできそうなしゅ目を考える。			
話合いのじゅんじょ	気をつけること		みんなの考え	
1 はじめの言葉 2 今月の歌 3 計画委員のしょうかい 4 ぎ題のかくにん 5 ていあん理由の発表 6 話し合い ①しゅ目を決めよう。 (15分) ②気をつけること(やくそく) を決めよう。 (10分) ③グループ(係)を決めよう。 (10分) 7 決まったことの発表 8 話し合いをふり返って 9 先生の話 10 終わりのことば	・学級の歌を元気に歌って楽しい話合いができるようにする。 ・やりたいことを全部出し合うようにする。 ・にているい見は、まとめるようにする。 ・みんなが活やくできそうなしゅ目を考えてもらう。 ・みんなが活やくして、なかよくあそぶために大切なことを出してもらう。 ・みんなで、決まったことをたしかめ、みんなできょう力してじゅんびができるようにする。 ・自分の考えや思いを伝えることができたかをふりかえる。		・ゴムとばし ・声のばし ・新聞紙ちぎり ・くつとばし ・下じき回し ・ストローのふくろとばし ・きょう力してやる。 ・ずるをしない。 ・い動の時は、静かにする。 ・生活はん ◎ ・くじ ・赤白 ・係ごとにじゅんびをする。	

(3) 評価

- ・理由を添えて自分の考えを発表している。(思考・判断・実践)
- ・提案理由を理解し、協力して話合いに参加しようとしている。(関心・意欲・態度)

6 事後の活動

- 10月3日 ・実践までの計画を立て、必要な係の確認をする。
- 10月4日～5日 ・係ごとに準備をする。
- ・細かいルールなどを決め、全体に知らせる。
- 10月7日 ・3の1オリンピックを開く。
- 10月8日 ・活動を振り返る。